説明的文章　接続語の捉え方

　日本はおそらく地球上にある文明エリアで、最も恵まれた「植生」を持った地域に違いありません。
　日本の国土の七〇パーセントは森だといいます。例えば、アメリカのロサンゼルス。おそらく行かれた方も多いと思いますが、ロサンゼルスは砂漠なんですね。砂漠の上に都市が作られたわけです。ですから、街路樹一本一本に、※スプリンクラーが付けられているのです。あそこの風土には、水を蓄えておくという樹木にとって最も重要な能力が哀しいかな、ありません。日本では考えられないことですが。
　世界の中でも、豊かな美しい森がある国としてしられているカナダ。※メイプルリーフが紅葉の時期のカナダの森は、見事な美しさを見せてくれます。［　　］、そのカナダでさえ、紅葉している木というのは五～六種類にすぎないのです。
　これが日本なら、僕のうちの林の中でも何十色とあります。同じように、新緑の色も何十色とあるのです。それが、その時期、日によって色が微妙に変わっていくわけです。僕は、何とも複雑な、何とも繊細な日本の植物達って、とてもセクシーだと思います。
（　**A**　）、ヨーロッパはどうでしょう。森の都と呼ばれるドイツには、黒い森と呼ばれるシュバルツバルトがあります。
　森はかつて、ドイツ全体を覆っていました。ヨーロッパ全てがそうでした。そして、その深くて、暗い森は、魔女や不気味な物が住んでいるという、ヨーロッパ独特の伝説を数多く生んでいきました。そのため、ある時人間たちは、その深い森をどんどん伐採していったのです。ドイツの深い森もどんどん切られていきました。そして、ふと気づいた時には、ドイツの国土のわずか一五パーセントしか残っていなかったのです。
　それで、これは大変だということになって、今度は、人間が木を植え始めたのです。（　**B**　）、人間が植える木というのは、やはり多種多彩ではなくて、結局、役に立つ木、つまり、針葉樹になってしまう。それで、黒い森、と呼ばれるようになったわけです。

（柳生博『森と暮らす、森に学ぶ』講談社　による）

※スプリンクラー…水をまく装置。　メイプルリーフ…カエデの葉。

例題

［　　］にあてはまる接続語を次から選び、記号で答えなさい。

ア　したがって　　**イ**　けれども
ウ　または　　**エ**　つまり

〔　　〕

接続語の読み取り

特に説明的な文章では、接続語に注目すると内容が捉えやすくなる。それぞれの語句がどのような関係を表すのかを理解しておく。

順接	前の内容が、後の内容の原因・理由になる。 （例）だから、そこで、したがって、すると
逆接	前の内容から予想されることと逆の内容が後にくる。 （例）しかし、だが、けれども、ところが
並立・累加	前後の内容を並べたり、前に後の内容を付け足したりする。 （例）そして、また、しかも、および、なお
対比・選択	前後の内容を比較したり、一方を選んだりする。 （例）または、あるいは、それとも、もしくは
説明・補足	前の内容をまとめたり、理由や情報を補ったりする。 （例）つまり、なぜなら、ただし、たとえば
転換	話題や観点を変える。 （例）ところで、さて、では

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1)　（　A　）に当てはまる接続語として、適当なものを選びなさい。

ア　だから　　イ　なぜなら　　ウ　では　　［　　］

(2)　（　B　）に当てはまる接続語として、適当なものを選びなさい。

ア　けれど　　イ　あるいは　　ウ　すなわち　　［　　］

(3)　——線部「ですから、……付けられているのです。」の一文について、正しく述べているものを選びなさい。

ア　直前の内容を理由として導かれる内容が述べられている。
イ　直前の内容に対する理由を表す内容が述べられている。
ウ　直前の内容をまとめる内容が述べられている。
［　　］